

(整形外科)

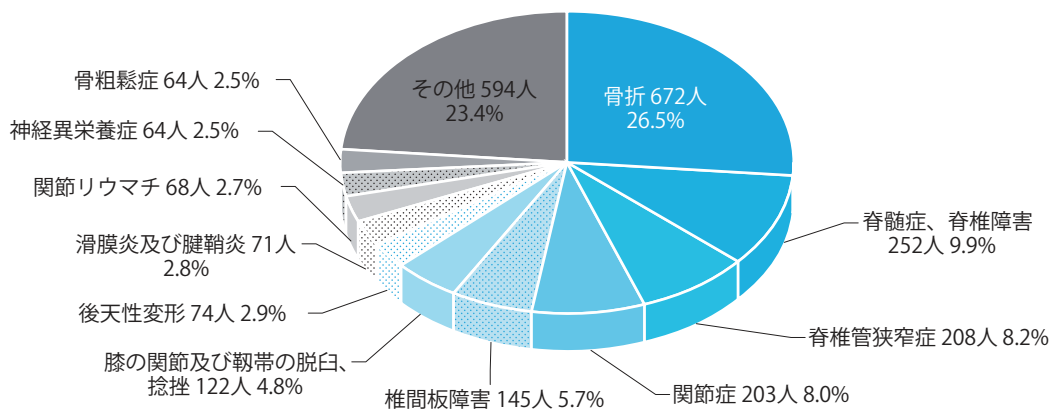
1. 概要

平成24年12月31日のスタッフは、常勤医4名三重野琢磨（小児）、山内健一（関節、外傷）、申正樹（手外科、外傷）、藤田護（膝肩、外傷）である。専攻医5名佐伯将臣、富田浩之、竹本元大、田中宏昌、岡田貴士である。専攻医は、6か月毎に整形外科、脊椎外科、リウマチ科をローテートしている。名古屋大学医学部整形外科教室と連携し人事交流を行っている。専門外来は、月1回、小児整形（第2青い鳥学園、則竹）、骨軟部腫瘍外来（名古屋大学整形外科腫瘍グループ）で行っている。手足の先天異常の手術については、井上五郎先生の指導を受けている。豊橋研修セミナーを主催し、2月は名大の今釜先生、8月は名大の平岩先生、に講演して頂いた。11月に大腿骨地域連携パスの講演会を主催し、名古屋第2日赤病院の佐藤浩二先生に講演をして頂いた。東三整会、三河関節、三河骨軟部、名静会などの研究会に参加し、近隣の医療機関との交流も行っている。

整形外科

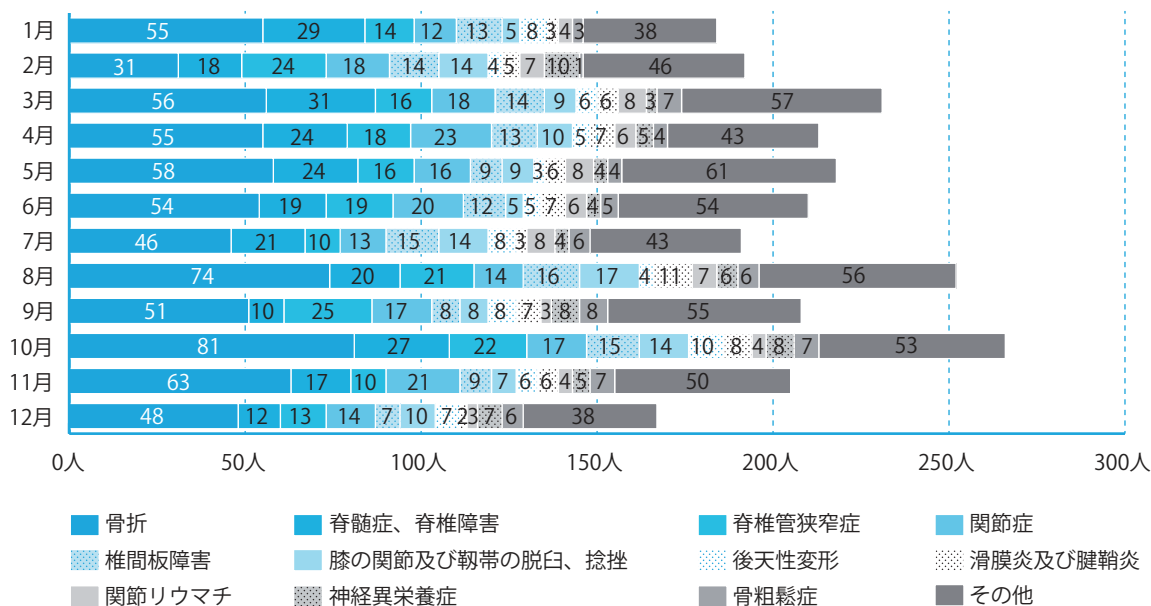
疾患別頻度

新患者数:2,537人



月別疾患別頻度

新患者数:2,537人



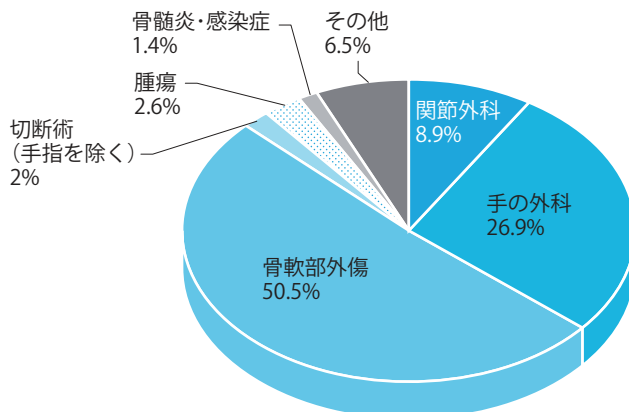
整形外科

骨折

新患者数:672人

1	前腕の骨折	126人
2	腰椎及び骨盤の骨折	109人
3	肩及び上腕の骨折	101人
4	大腿骨骨折	101人
5	下腿の骨折、足首を含む	96人
	その他	139人
	計	672人

手術症例 1,172件



手術麻酔別 (件)

全身麻酔	449
腰椎麻酔	309
伝達麻酔	238
局所麻酔	176
計	1,172

①関節外科

(ア)人工関節 (件)

股関節	67
膝関節	26
肩関節	1
計	94

(イ)関節形成術 (件)

肘関節	6
指関節	2
手関節	3
足関節	1
計	12

(ウ)関節鏡視下手術 (件)

肩関節	6
膝関節	41
手関節	61
足関節	1
計	109

②手の外科 (重複あり)

(件)

(ア)肘・前腕	114
(イ)手関節	40
(ウ)手指	119
(エ)マイクロサージャリー	3
(オ)手指、足趾、多合指(趾)	7
計	283

③骨軟部外傷

(件)

(ア)鎖骨—上腕	58
(イ)骨盤—大腿骨頸部	122
(ウ)大腿—膝	136
(エ)下腿	32
(オ)足関節—足	52
(カ)抜釘	131
計	531

④切断術 (手指を除く)

33

⑤腫瘍

27

⑥骨髄炎・感染症

15

⑦その他

68

学会発表

<整形外科>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	Kienbock病に対する橈骨短縮術 と有頭骨短縮術の治療成績	申 正 樹	第55回日本手外科学会学術集会	2012/4/20
2	肩関節内血腫の1例	藤 田 護	第41回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外 科学会	2012/7/19
3	手術困難な変形性膝関節症に対してフェ ンタニル貼布剤（デュロテップMTパッ チ）を使用した1例	藤 田 護	第61回東日本整形災害外科学会	2012/9/22
4	高度肥満を伴った変形性股関節症に対 して偏心性寛骨臼回転骨切り術を行った2 症例	岡 田 貴 士	第119回 中部日本整形外科災害外科 学会・学術集会	2012/10/5
5	股関節ガングリオンによる大腿静脈狭窄 の1例	藤 田 護	第40回日本関節病学会	2012/11/8

座長・司会

<整形外科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	主催セミナー 名古屋大学大学院医学系研究科 今釜史郎「高齢者の脊柱後彎症」	岩 瀬 敏 樹	第11回豊橋整形外科研修セミナー	2012/2/17
2	座長	三重野琢磨	第314回東三河整形外科医会	2012/4/26
3	主催セミナー 名古屋大学大学院 医学系研究科 平岩秀樹「当院における膝・肩関節手術の現状」	丸 山 正 吾	第12回豊橋整形外科研修セミナー	2012/8/24
4	座長	三重野琢磨	第318回東三河整形外科医会	2012/10/25
5	座長 名古屋第二赤十字病院 佐藤浩治「地域連携パスの経験」	三重野琢磨	第1回豊橋大腿骨近位部骨折連携研究会講演会	2012/11/29

論文・著書

<整形外科>

No.	題 名	発表者及び 共同研究者	雑 誌 名
1	肩関節内血腫の1例	藤 田 護	JOSKAS 第37巻,4号,136頁,2012年
2	手術困難な変形性膝関節症に対してフェン タニル貼布剤（デュロテップMTパッチ） を使用した1例	藤 田 護	東日本整形災害外科学会雑誌 第24巻,3 号,402頁,2012年
3	股関節ガングリオンによる大腿静脈狭窄の 1例	藤 田 護	日本関節病学会誌 第31巻,3号,335頁,2012 年